

## 源氏物語と子供の世界

↑ピンクでポップってます ▶平成20年10月25日(土)

いづれの御時にか，女御，更衣あまたさぶらひたまひけるなかに，いとやむごとなき際にはあらぬが，すぐれて時めきたまふありけり。

きょうは突然「源氏物語」から入りました。

ただ，なんとなく，ですが...

ここまでくらいは暗記しておきましょうね，高校生諸君！

こういう知識は，それなりにその人の人格としてにじみ出ます。

「いとやんごとなき」人々もいたのです。

平安時代には。

これは格差社会そのものです。

平安中期というのはものすごい格差社会でした。

それが当然の世界でした，つい最近までそうでしたが...

河原の橋の下で，藁をまとっただけで冬を過ごしていた人々もいたし，

12枚もの衣服で着ぶくれして，ぬくぬくと冬を過ごしていた

「すぐれて時めきたまふ」人々もいたのです。

現代は，貧富の差が学力の差になりつつある「格差社会」の時代です。

知識で着ぶくれすると，厳しい冬の時代でも「ぬくぬく」暮らせます。

「やんごとなき」みなさん！がんばりましょ。

「やんごとなき」神さんも，がんばって！

神の声：「...ん！

神は「やんごとなき」かね。？」

神さん，いつも白衣1枚でしょ。

12単衣の神さん，見たことない。

錦を着た神さん，見たことない。

神主さんも白衣。

神さんの世界って，「やんごとなし」です！

神の声：「...！（-\_-;）」

そういえば，仏さんもぺらぺらの衣1枚ですね。

それに反し，坊さんは...

金糸，銀糸織りなす「けさ」などを纏って...

豪華絢爛にお勤めをなさいます。

どういうわけだ，これは！

あれは，仏さんに失礼にあたらないうるかねえ？

え？

ネパールの坊さん，衣 1 枚...？

そういえば，そうですね。

坊さんの世界にも「格差」があるのかな？

*じゃんじゃん！*

どうでもいいことに時間をつぶしてしまいました。(\*^\_^\*)

数学の勉強をはじめましょ。

と，思ったのですが，つぶしついでに，もう 1 つで，つぶします。

---

小学校のグラウンドで，全校生徒が集まって運動会の応援練習をしています。

太鼓の音，笛の音，子供達の一糸乱れぬ応援歌の大合唱。

集団行進，マスゲーム

...美しいですね。力強いですね。いいですね。

...という感動的のシーンを横目に見ながら，校舎の裏手に回ると，

日陰になった中庭に，体操着を着た小太りの子供ひとり...

しゃがんで，なにやらずねています。

その後ろに若い女の先生が立って，しきりとグラウンドの方を指びさしています。

動と静，明と暗の世界です。

30年後，この生徒，何をしているかな？

なんて考えてしまいました。

同じグラウンドで，別の日のできごと。

やはり，運動会の練習でしょうか，

太陽がさんさんと照りつけるグラウンド，

子供達が歓声をあげながら走り回っています。

秋のそよ風も子供達の後を追いかけて，ガンバレのひと押し...

その秋風の行く手，グラウンドの隅の木々のおいしげる木陰のあたり...

しゃがんで，ひとり黙々とクローバをつんでいる男の子...

動と静，明と暗の世界です。

これは近所のミッション系の幼稚園の砂場でのシーン。

園児達がみんな一緒に大きな山を作りながらわいわいがやがや遊んでいて...

砂場から出て，みんなに背を向け，砂場から少しだけ砂をかき出して，

小さな砂山を作っては壊し，壊しては作っている女の子。

この女の子にさかんに脇から声をかけている女の子。

しかし，われ関せずとしら～ん顔で己の作業に没頭している女の子。

それでも，いっしょうけんめいに話かけている女の子...

トートロジー？な不思議な光景です。

「は～い！、いっぱい食べるのですよ。  
こぼしちゃダメと言っているでしょ！」  
手のひらにのりそうな小さな黄色いポリバケツを砂でいっぱいにして、  
だれともなく話しかけている女の子。  
家庭が見えます。

ただ、ただ、スコップで土をたたいているだけの男の子。  
なんだろ？  
わかりません。  
子供の世界は不可解です。

けっきょく、きょうは数学できませんでした。  
メルヘンの世界で遊んでいただきました。  
明日こそ、数学しましょ。  
おしまい。

神の声：「こういう日もあっていいのです！」  
じゃんじゃん！

**ジャンジャン！**